

第74回全国高等学校通信制教育研究会総会並びに研究協議会（岐阜大会） 実施報告書

事項	内 容
事業名	第74回全国高等学校通信制教育研究会総会並びに研究協議会（岐阜大会）
期 日	令和4年6月16日（木）から6月17日（金）
開催場所	zoomによるWeb開催
主 催	全国高等学校通信制教育研究会・中部地区高等学校通信制教育研究会
後 援	文部科学省 岐阜県教育委員会 愛知県教育委員会 石川県教育委員会 静岡県教育委員会 富山県教育委員会 栃木県教育委員会 長野県教育委員会 福井県教育委員会 三重県教育委員会 NHK NHK出版 (公財)全国高等学校定時制通信制教育振興会 全国高等学校定時制通信制高等学校長会 全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会 岐阜県高等学校定時制通信制教育振興会 岐阜県高等学校長協会 岐阜県高等学校教頭協会 岐阜県高等学校教育研究会定通部会 (公財)日本教育公務員弘済会岐阜支部
参加者	96校 422名（来賓、NHK、NHK出版等含む）
実施目的	今日の通信制高校は、従来からの勤労青少年の割合が急減する一方、不登校や中途退学を経験した生徒、外国籍や特別な支援を必要とする生徒などが混在し、少子化が進む中でも在籍数が漸増傾向にあり、多様な生徒の学びの場として極めて重要な役割を担っている。新学習指導要領の実施年度の当たり、「学びの再チャレンジ」や「学びのセーフティネット」の一面を持ちながら、今後、グローバル化や情報化、少子高齢化などの社会変化への対応に必要な知識や技能、人間関係を形成する力を習得させ、ICTの活用などを通して、将来の我が国を背負う人材育成していく通信制教育のあり方について研究協議を行う。
実施内容	令和4年6月16日（木） ※全国通信制高等学校長会総会（10:20～11:20） 開会式（13:00～13:20）、総会（13:20～14:05） [文部科学省講演]（14:15～15:00） 文部科学省初等中等教育局 参事官（高等学校担当）付参事官補佐 松田 昌幸 [研究協議会①]（15:15～17:00） 第1分科会(学校運営) 130名 第2分科会(国語) 49名 第3分科会(理科) 44名 第4分科会(英語) 44名 第5分科会(放送教育) 88名 第6分科会(人権教育・教育相談) 65名 令和4年6月17日（金） [研究協議会②]（9:00～10:30）上記6分科会 [記念講演]（10:50～12:00）講師：関東学園大学経済学部 准教授 東明 有美氏 演題：「強い心を育てる ～スポーツから学ぶ人材育成のヒント～」 [全体協議会]（12:00～12:25）上記6分科会の報告と協議 閉会式(12:25～12:40)
参加費	加盟校：学校参加5,000円（1校） 一般参加：7,000円（1名）
成 果	第74回研究協議会は、新学習指導要領の開始に当たり通信制課程の新たな学びに焦点を当て、オンライン開催で行った。文部科学省講演は、「通信制高校に期待されるこれからの在り方について」という演題で、通信制高校を取り巻く現状と今年度4月に施行された制度改革の内容、及び「令和の日本型学校教育」の実現に向けた有識者会議の状況についての解説だった。新学習指導要領の実施と今後の通信制教育の方向性や理念を踏まえた教育実践に向け、多くの示唆を与え、様々な取組への可能性を感じさせるものであった。 研究協議においては、コロナ禍における高等学校通信制教育の課題を共有するとともに、対応策として開発された指導法の紹介や教科・科目の指導の充実・発展に向けた方策等について活発に協議を行った。また、導入された観点別評価や完成を目指すGIGAスクール構想の現状についても報告され、情報を共有した。研究発表における研究成果や先進的な取組、通信制におけるオンライン学習やICTの活用が今日的課題という点で各校共通の認識が形成された。課題解決に向けた方策についてもzoomを活用した活発な意見交換が行われた。時間の制限があったが、助言者による適切な指導によって、参加者の意識を高め、各学校の実践力の向上につながる有意義な研修となった。また、情報交換の意義も大きく、全国の通信制高等学校相互のネットワークの重要性を感じさせた。 記念講演は「強い心を育てる～スポーツから学ぶ人材育成のヒント～」という演題で、元女子サッカー日本代表でオリンピック出場経験というご自身の経験に裏付けされた内容は大変興味深いものだった。なによりも、心の問題を抱える生徒が増えている現在の通信制において、生徒たちの強い心を育てるために、どのように指導するかという点で、大いに役に立つノウハウや示唆に富んだものであった。 今後も通信制教員の指導力向上を目指した貴重な研修の場として、本大会はさらに重要性を増していくと考えられる。